

3

カレンダーの算数

学習日

月 日

得点

/ 100点

- 1 4組のアダウト先生は、「文字を使った式」の便利な使い方について、えりさんと話しています。

先生：2020年4月のカレンダーを見てみよう。カレンダーの中には、不思議な秘密がかくれているんだ。発見できるかな？

えり：下のように囲んだ3つの数「2, 8, 14」を見てください。右上の数と左下の数の和は、真ん中の数の2倍に等しくなっています。これは、どんな場所でも成り立つと思います。たぶん……。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

先生：えりさんの発見は正しいよ。よくできたね。でも、本当にどんな場所でも成り立つのか、気になるよね。実は、文字を使った式を使うと、説明することができるんだ。いっしょに考えていこう。

えり：はい！ うまく説明できるといいな。

先生：右上の数を x とおくよ。すると、真ん中の数と左下の数は、それぞれ x を使った式でどのように表せるかな？

えり：真ん中の数は、 $x + \text{①}$ ，左下の数は、 $x + \text{②}$ となります。

先生：そうだね。次に、右上の数と左下の数の和と、真ん中の数の2倍を、それぞれ x を使った式で表してみよう。

えり：右上の数と左下の数の和は、 $x \times \text{③} + \text{④}$ となります。

真ん中の数の2倍は、計算のきまり、

$$(\bigcirc + \triangle) \times \square = \bigcirc \times \square + \triangle \times \square$$

を使うと、

$$(x + \text{①}) \times 2 = x \times \text{③} + \text{④}$$

つぎのプリントにつづく →

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう！



かわいい小学生になろう

となります。右上の数と左下の数の和と、真ん中の数の2倍は、同じ式で表せるから、等しいことがわかるんですね。

先生：そのとおり。文字を使った式には、このような使い方もあるよ。ほかにもカレンダーの秘密を発見して、成り立つことを説明してみてね。

① 2人の会話を読んで、□にあてはまる数を書き入れましょう。ただし、同じ番号の□には同じ数が入ります。(①～④各15点)

② 下のように囲んだ5つの数「8, 14, 15, 16, 22」を見ると、5つの数の和は、真ん中の数の5倍に等しくなっています。これは、どんな場所でも成り立ちます。5つの数の中でいちばん小さい数を x とおいて、成り立つことを説明しましょう。(40点)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



これができると **かっこいい!**

中学生になると、このような問題にいっぱい挑戦するよ。文字を使った式を上手に使えるようになろうね。



Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!



かっこいい小学生になろう